

平成 23 年 5 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 光 陽 社
代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木孝
(コード番号 7946 大証第二部)
問 い 合 せ 先 取締役業務本部長 西田道夫
(T E L 0 3 - 3 2 6 6 - 6 6 9 1)

(訂正)「平成 23 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 23 年 5 月 20 日に公表いたしました「平成 23 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に追加・訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正箇所は、線を付して表示しています。また、数値データの訂正はありません。

記

4 ページの 1. 経営成績 (2) 財政状態に関する分析の ①資産、負債及び純資産の状況及び ②キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

- ・「①資産、負債及び純資産の状況」記載なし
- ・「②キャッシュ・フローの状況」の表題 記載なし

【訂正後】

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の流動資産は 16 億 19 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 1 億 78 百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加 99 百万円、仕掛品の増加 43 百万円、受取手形の増加 39 百万円の増加等があったことによるものです。

また、有形固定資産の合計は 7 億 20 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 1 億 86 百万円減少しました。これは主に、減価償却費 1 億 46 百万円の計上と、土地・建物の減損損失 52 百万円の計上によるものです。

無形固定資産の合計は 99 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 13 百万円減少しました。これは主に、のれん及びソフトウェアの減価償却費の計上によるものです。

投資その他の資産は 81 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 8 百万円増加しました。これは、主に、差入保証金が 14 百万円増加した一方、投資有価証券の売却などで 4 百万円減少したことによるものです。

上記の結果、固定資産合計は 9 億 2 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 1 億 90 百万円の減少しました。

以上の結果、資産合計は 25 億 21 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 12 百万円の減少しました。

当連結会計年度末の流動負債は 8 億 95 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 44 百万円増加しました。これは主に、支払手形の増加 82 百万円と買掛金の増加 35 百万円等があった一方、短期借入金の減少 44 百万円と事業構造改善引当金の減少 38 百万円等があったことによるものです。

固定負債は12億44百万円で、前連結会計年度末に比べて73百万円の減少となりました。これは主に、金融機関からの借入れによる長期借入金が増加64百万円があった一方、退職給付引当金の減少99百万円と長期未払金の減少24百万円等があったことによるものです。

上記の結果、負債合計は21億39百万円となり、前連結会計年度末に比べて28百万円の減少となりました。

当連結会計年度末の純資産合計は3億81百万円となって、前連結会計年度に比べて15百万円の増加となりました。これは、主に当期純利益13百万円による利益剰余金の増加によるものです。

以上の結果、負債・資本合計は25億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて12百万円の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は営業活動によるキャッシュ・フローで1億41百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで32百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで8百万円減少し、資金は1億円増加となり、当連結会計年度末は6億28百万円となりました。（以下省略）

以 上